

## 昆虫文献 六本脚 出版物・新着図書・雑誌情報

日頃より「昆虫文献 六本脚」をご愛顧頂き誠にありがとうございます。

## 2024年7月号

総額表示義務化に伴い、2021年4月1日から、すべて税込表記（一部本体価格併記）となりますことご了承下さい。

## &lt;新着グッズ&gt;

## ポストカード「沖縄の洞窟」

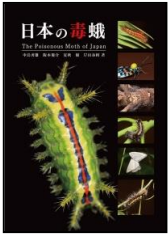


はがき 105×148mm 封筒 115×162mm  
1セット（はがき+封筒） 880円（税込）  
「INTO DARKNESS 美しきチビゴミムシの世界」の135頁に掲載されているオキナワアシナガメクラチビゴミムシの画像が、スウェーデンの有名ポストカード作家 Nina Tell 氏の作品のモデルに採用されました。このポストカードは、スウェーデンから直輸入した当社の専売品です。

## &lt;新着図書&gt;

## 日本の毒蛾

中島秀男・阪本優介・夏秋優・岸田泰則著, 2024.

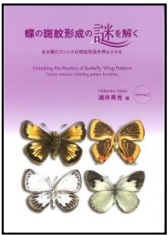


B5, 158pp.(うち 88 カラーページ), ソフトカバー. 価格: 4,500円 (税込 4,950円)  
日本に毒のある蛾は何種いるのか、どういった症状があるのか、刺されたときの対処法は? 蛾の専門家と皮膚専門医が蛾の有毒種を徹底解説! 毒のある蛾について、成虫及び幼虫の美しい画像が圧巻です。

## 蝶の斑紋形成の謎を解く

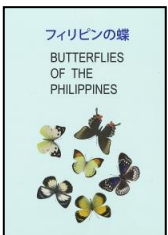
ある種のストレスは斑紋形成を停止させる 第2巻

酒井英光, 2024.



A4, 288pp. 特装版. 価格: 10,909円 (税込 12,000円)  
2020年に発行された第1巻（アゲハチョウ科、タテハチョウ科）の続刊で、第2巻はシジミチョウ科を中心に、マダラチョウ、タテハチョウ科、セセリチョウ科、ジャノメチョウ、シロチョウ科など 100種以上の「異常型」という、かつてない蝶の図説となっています。アグリアスやモルフォチョウ、最後にオキナワルリチラシも掲載されていて、多彩な内容となっています。

## フィリピンの蝶



アゲハ、シロチョウ（除くキチョウ）、マダラ、ルリモンジャノメ編 Butterflies of the Philippines  
多家慎治, 2024.  
215mmx303mm, 244pp. (187 col.pls 含) 価格: 18,000円 (税込 19,800円)  
著者が50年以上フィリピンに通って、製作に至った渾身の図鑑です。アゲハチョウ、シロチョウ(除くキチョウ)、マダラチョウ、ルリモンジャノメの合計 143種が 187カラープレートに掲載さ

れおり、圧巻です。種名(和名と学名)と産地データが前半テキスト部にまとまっており、巻末の索引は学名(種小名)のアルファベット順となっています。

BRUTUS (ブルータス) No.1012 特集 珍奇昆虫  
Bizarre Insects Handbook 2

BRUTUS 編集部 (編) 2024.

210 x 283mm, 118pp., フルカラー. 価格: 764円 (税込 840円)

ブルータスが作る“珍奇昆虫”シリーズ、第2弾となります。  
今回は甲虫を中心に、デザインの根源的な要素が凝縮された、魅惑の昆虫の世界にどっぷりと浸かっていたかというコンセプトとなっています。イタリアコレクター列伝、モデナでのインセクトフェアの様子、標本道具蒐集録、昆虫標本のメンテナンス術、お楽しみ袋とじなど、初心者から虫屋まで楽しめる内容となっています。

## 地球の歩き方 BOOKS



日本の虫旅 - 日本全国の昆虫スポットを親子で旅する-

地球の歩き方編集室 (編), 2024.

A5版, 256pp. (フルカラー) 価格: 2,000円 (税込 2,200円)

あの「地球の歩き方」が、多様な虫たちを紹介する初めてのかつ驚きの「虫旅」提案書。海外を含む具体的な昆虫採集地の案内と、採集・観察、写真撮影方法や旅の前の事前情報収集方法など、多くの内容を1冊に凝縮しています。ライト層・ファミリー層向けに昆虫館やチョウの博物館など、旅行先で訪れたい虫関連スポットも網羅しています。昆虫採集をされている方は、一度は訪れたことがあるだろう場所が紹介されているので、眺めるだけでも楽しい1冊です。六本脚も紹介されています。

## ポケット図鑑 新 日本の昆虫 1900 ①チョウ・バッタ・セミ



梶真史編, 伊丹市昆虫館監修, 2024

A6, 320pp.(オールカラー) 価格: 1,600円 (税込 1,760円)

野外でもよく見る種を中心として、鱗翅目・直翅目・半翅目ら約1000種(解説のみの種を含む)を掲載。2013年に発行された「日本の昆虫1400」をパワーアップし、野外で“本当に出会える”昆虫、約1900種の掲載となりました(1-2巻合計)。解説文もほぼすべて刷新され、形態や生態の情報がさらに充実しました。難しい昆虫の部位の名称も、白バック写真中に丸数字で該当部分を示すなど、解説と図版をより連動させることで識別をやりやすく改良しました。また、二次元コードを読み取って約100本の動画や音声も楽しめます。

ポケット図鑑 新 日本の昆虫 1900 ②トンボ・コウチュウ・ハチ



梶真史編, 伊丹市昆虫館監修, 2024 A6, 320pp.(オールカラー) 価格:1,600円(税込1,760円)

野外でもよく見る種を中心として、トンボ目・コウチュウ目・ハチ目約900種(解説のみの種を含む)を掲載しています。2013年に発行された「日本の昆虫1400」をパワーアップし、野外で「本当に出会える」昆虫、約1900種の掲載となりました(1-2巻合計)。解説文もほぼすべて刷新され、形態や生態の情報がさらに充実しました。難しい昆虫の部位の名称も、白バック写真中に丸数字で該当部分を示すなど、解説と図版をより連動させることで識別をやりやすく改良しました。また、二次元コードを読み取って約100本の動画や音声も楽しめます。

＜新着 月刊誌・季刊誌＞

月刊むし(むし社)

2024年8月号(642号) B5, 64pp. 1,430円(税込・送料別)



カミキリ特集号・24 [表紙] モモグロハナカミキリ♂ 小林信之, 今月のむし ツヤハダゴマダラカミキリ 永野篤弘, ノコギリヒメコバネカミキリの生態 河合秀樹, 西九州のコジマベニスジカミキリとクロニセリンゴカミキリについて 廣川典範, マイナー離島のカミキリ紀行⑨ 宮古諸島 不思議の島の八番勝負(前編) 藤田 宏, コバネゴマフカミキリとタテスジゴマフカミキリの生態に関する若干の知見 浅野悟史, 北海道産ソコバネカミキリの色彩変異 藤澤和郷・藤田 宏, 2024年に座間味島で採集した水生甲虫類および水生半翅類 上手雄貴・上手奈美・山田恒子, 白水 隆博士による福岡のスジゲンゴロウなどについての覚書 柳 丈陽・永幡嘉之・秋田勝己, KIROKU・HOKOKU(16編) 岩手県におけるニセゴマダラモモフトカミキリの記録 坂上光一, 天草諸島(下島)初記録のヒモコヒメハナカミキリ 谷口明, クモハナカミキリの早期採集例 川田一之, 針葉樹林帯におけるオニホソコバネカミキリの採集例 進藤健朗, 沖縄諸島瀬底島で採集されたヨナグニアカアシタソウムシ 吉武 啓・藤川浩明, 鹿児島県硫黄島でクロタマムシおよびクワカミキリを採集 山本 有・木崎庸雅・土屋利行, ムネモンアカネトラカミキリおよびムネマダラトラカミキリの訪花例 河合秀樹, 長野県佐久穂町でイシガケチョウを撮影 栗山 定, 沖縄県久米島でベーツヒラタカミキリを採集 山本 有, 吐・喇り島諏訪之瀬島でシラホシカミキリを採集 上林昭景・後藤善和, 京都市におけるアトジロサンガメの記録 中嶋 環, 冬季の陸上で得られたエサキナガレカタピロアメンボ 内田大貴・阿部真大・岩田泰幸, 岐阜県絶滅種とされるシルビアシジミを採集 菊地泰雄・服部和之, ケラスウリの蔓を食べるフタイロウリハムシ 小浜継雄, 東京都奥多摩町でモンケシツブチョッキリを採集 源河正明, 沖縄本島でイリオモテチビコムツキを採集 田村克徳・盛口 満, 虫誌ダイジェスト 三河生物・他 本誌編集部, 編集後記

カミキリの生態に関する若干の知見 浅野悟史, 北海道産ソコバネカミキリの色彩変異 藤澤和郷・藤田 宏, 2024年に座間味島で採集した水生甲虫類および水生半翅類 上手雄貴・上手奈美・山田恒子, 白水 隆博士による福岡のスジゲンゴロウなどについての覚書 柳 丈陽・永幡嘉之・秋田勝己, KIROKU・HOKOKU(16編) 岩手県におけるニセゴマダラモモフトカミキリの記録 坂上光一, 天草諸島(下島)初記録のヒモコヒメハナカミキリ 谷口明, クモハナカミキリの早期採集例 川田一之, 針葉樹林帯におけるオニホソコバネカミキリの採集例 進藤健朗, 沖縄諸島瀬底島で採集されたヨナグニアカアシタソウムシ 吉武 啓・藤川浩明, 鹿児島県硫黄島でクロタマムシおよびクワカミキリを採集 山本 有・木崎庸雅・土屋利行, ムネモンアカネトラカミキリおよびムネマダラトラカミキリの訪花例 河合秀樹, 長野県佐久穂町でイシガケチョウを撮影 栗山 定, 沖縄県久米島でベーツヒラタカミキリを採集 山本 有, 吐・喇り島諏訪之瀬島でシラホシカミキリを採集 上林昭景・後藤善和, 京都市におけるアトジロサンガメの記録 中嶋 環, 冬季の陸上で得られたエサキナガレカタピロアメンボ 内田大貴・阿部真大・岩田泰幸, 岐阜県絶滅種とされるシルビアシジミを採集 菊地泰雄・服部和之, ケラスウリの蔓を食べるフタイロウリハムシ 小浜継雄, 東京都奥多摩町でモンケシツブチョッキリを採集 源河正明, 沖縄本島でイリオモテチビコムツキを採集 田村克徳・盛口 満, 虫誌ダイジェスト 三河生物・他 本誌編集部, 編集後記

昆虫と自然(ニューサイエンス社)

2024年8月号(Vol.59 No.9) B5, 40pp. 1,682円(税込1,850円)



特集・昆虫の利用・昆虫と食 総論: 食のレジリエンスを支える昆虫の力: 応用昆虫学の新たな展開 鈴木 文詞, コオロギのゲノム解析と新しい食料としての未来の探求 片岡 孝介, 昆虫食: 未来の食料資源 小倉 淳, アメリカミズアブ生産の日本での普及を目指して 小林 徹也・劉

家銘・武田 晃司・安田 哲也, シロアリ飼料化プロジェクト:ゼロから築く新たな昆虫利用 松浦 健二, 報文 昆虫に対する青色光の影響 堀 雅敏, INSECTS REPORTS ラオス農村部の住民が昆虫を食べる理由 佐藤 優・佐伯 真二郎, INSECTS REPORTS 昆虫食を育むラオスの自然と文化 小坂 康之, INSECTS REPORTS 昆虫食文化の誤解, 理解と未来 井内 良仁

BE-KUWA(むし社)

No.92(2024年7月発行) A4, 128pp. 1,540円(税込)



日本のミヤマクワガタ大特集!!、日本のミヤマクワガタ大図鑑 佐藤 仁, 関東周辺のみヤマクワガタ採集記 串田 皓星, 宮崎県ミヤマ採集紀行 井久保 怜, レコードホルダーに学ぶ ミヤマクワガタの飼育法 畑中 章史, 55mm オーバーを目指す アマミヤマクワガタ飼育法 織部 利信, 誰でも簡単にできるミクラミヤマ飼育法 今坂 二郎, 虫のためなら、どこへでも! 野澤 巨伸,

HirokAのへら2漫遊記 河野 博史, たえたそちゃんねる(裏) たえたそ, 山梨オオクワ採集 台木の上にも3年! 長坂 敬司, 青森県のヒラタクワガタの謎 日国会長, ホペイの世界 山本 良樹, 80mm プリーダーから学ぶ! ゼロからはじめる巨大オオクワガタの育て方 上級編 主水, 新オオクワガタ検証企画!! 同条件で飼育してどのくらい結果がバラけるのか検証してみよう! プロデューサー・チョネ, 日本のミヤマクワガタ大図鑑 解説 佐藤, 21世紀版 クワガタムシ飼育のスーパーテクニック 小島 啓史, 編集部よりお知らせ, 読者と執筆者と編集部をつなぐ井戸端会議室, び〜くわ横丁, クワガタ用語の基礎知識, 編集後記

＜新着 学会誌・同好会誌＞

InsecTOHOKU(福島昆虫ファウナ調査グループ会誌)

No.65(2024年4月30日発行) B5, 36pp., 価格:800円(税込・送料別)



2023年ブライヤー墓参り 石川佳宏, ハラミドリヒメギス Eobiana nagashimai の分子系統学的解析 草刈広一・梅津和夫・北野善, 南会津町においてチャパネセセリを採集 守谷和貴, 10月・11月の福島市におけるクロヒカゲとオオチャパネセセリの採集記録 守谷和貴, 2023年に中通りで採集したヤガ科蛾類の記録 守谷和貴, 福島県のタマムシ科甲虫の現状 斎藤修司, 【編集後記】 ロド

さやばねニューシリーズ(日本甲虫学会)

No.53(2024.3発行) B5, 50pp. 価格:1,300円(税込・送料別)



コバネアシバセセスジハネカクシは中国地方へいつ侵入したか? 千田喜博, 四国におけるモリモトクロチビジョウカイの記録 高橋和弘, 甲虫コレクションガイド 32 倉敷昆虫館の甲虫コレクション 鈴木茂, マルチバガムシの生息環境について 森正人・西野洋樹, 長野県におけるニッコウマルハナノミダマシの記録 大山健太, 青森県におけるイタヒゲヒメコムツキダマシの記録

鈴木 直, アトモンチビカミキリのトカラ列島臥蛇島の記録 松井正通・松井正文, 宮古島におけるゴミムシ類3種の記録 桑原佑典・中村涼, アキタコオオズナガゴミムシの最南記録およびキタカミオオズナガゴミムシの最西記録 中屋直哉, 香川県におけるヒラタコメツキモドキの記録及び興味深い生態 藤本博文・亀澤洋, 礼文島と利尻島におけるキンケクチフトソウムシの新記録 友田壮祐・山田良純・山内健生・柏崎昭, トビラジョウカイの新産地と色彩変異について 高橋和弘, 三重県および和歌



山県で採集されたチビマルケシゲンゴロウ 秋田勝己・苅部治紀・津田正太郎・柳丈陽・北野忠・小田切頭一・荒谷邦雄, クマガイクロアオゴミムシの学名について 中村涼, 北海道初記録のクシコメツキ2種の記録 渡辺昭彦・石田浩司, クビボソコガシラミズムシの対馬からの初記録 松尾進, 岐阜県でフトアゴエグリゴミムシを確認 細川浩司・長谷川道明, 日本と台湾のNosodendron属 Dendrodipnis 亜属(ヒメトゲムシ科)について 伊藤淳・中村涼・田中努・青井光太郎・加藤敦史・上田衛門・関峻大・田悟敏弘・佐々木英世, コナラの葉裏に集まるミカドテントウ 藪島悠介, 滋賀県におけるサメハダマルケシゲンゴロウの初記録 村上大介, 沖縄県名護市奥武島で12月にミドリナカボソタムシを採集 小浜継雄, 日本産ナガハネカクシ属数種の和名について 千田喜博, アカモンヒラタハネカクシの棲息環境に関する知見について 伊藤建夫, 京都府初記録のチャバネクビアカツヤゴモクムシ 稲畑憲昭, 岩手県におけるヨツモンヒメテントウの記録 中屋直哉, 福岡県におけるチビマルケシゲンゴロウの記録 中島淳・井上大輔・上野由里代, 長野県におけるニセツツガタシバンムシの記録 矢崎耀一, セスジツツホソカタムシの与那国島からの記録 伊藤建夫, 柴田泰利氏の逝去を悼む 渡邊泰明

### はなあぶ (双翅目談話会)

No.56 (2023年11月発行) B5, 88pp. 1,500円(税込・送料別)



恐羅漢山(広島県)で見つかったクロツヤテングハナアブ *Cynorhinella* sp.の♂とフタモンケバハラナガハナアブ *Brachypalpus longifacies* の記録 桂孝次郎, 鞆公園(大阪市西区)で見つかったクスノキミバエ *Bactrocera hyalina* 桂孝次郎・市毛勝義, アシナガハエ科 *Condylostylus* 属の翅模様異常について 笠城道男, 埼玉県におけるドクロニセヒメコバエとセダカショウジョウバエ

科 *Curtonotum* sp.の記録 田悟敏弘, パキスタンベッコウバエの日本と台湾からの記録 倉橋弘・星野啓太, 三重県の洞窟から採集されたドクロニセヒメコバエ 川村康平・市毛勝義, *Hammerschmidia rufa* クロケニセハナアブ(和名新称)を青森県で採集 市毛勝義・福井経平, 2022~2023年に石川県白山市のブナオ山観察舎室内で採集されたハエ目昆虫類 中田勝之・大宮正也, 青森県からのミスアブ科2種の記録 市毛勝義・福井経平, *Stratiomys japonica* ナミミスアブとその近縁種について 市毛勝義, 南アルプス聖岳周辺の特筆すべき双翅目(2) *Onychogonia flaviceps*(ヤドリバエ科) 大宮正也, *Eliozeta helluo*(双翅目, ヤドリバエ科)の高知県の記録(四国初記録) 大宮正也, 岐阜県乗鞍岳におけるクモママイエバエの記録 大宮正也, 宮古諸島で採集した有弁翅類の記録 大宮正也, 新潟県で採集した有弁翅類の記録 大宮正也, 日本の海浜性キイロアブ属の種類と分布並びにナガトミキイロアブの生態的知見(双翅目, アブ科) 米津晃, 青森県で採集されたクシヒゲツノキノコバエ *Ctenoceridion* (*Ctenoceridion*) *pectinatum* (Kimura, 1975)(双翅目, ツノキノコバエ科) 深沢勇太, *Hydrotaea* sp.(双翅目, イエバエ科)に便乗する *Damalinea* (*Cervicola*) *sikae* シカハジラミ(咀顎目, ケモノハジラミ科)を発見 深沢勇太, 東京都と栃木県で *Borboropsis yakunoana* Sasakawa, 2004 ヤクノオワイバエを採集 深沢勇太・瀬島翔馬, 千枚岳の注目すべきキノコバエ 大石久志, ニッコウクシヒゲガガンボ *Ctenophora* (*Ctenophora*) *nikkoensis* Takahashi, 1960(ガガンボ科)の四国初記録 加藤大智・前田蛭太, 近畿地方のハナアブ科目録 富永修, 東京都杉並区でアオバトシラミバエを採集 韓昌道・伊東憲正

### はなあぶ (双翅目談話会)

No.57 (2024年4月発行) B5, 92pp. 1,500円(税込・送料別)



セダカショウジョウバエ科の新潟県における多産地及びその他数か所の記録 加藤大智, 滋賀県甲賀市みなくち子どもの森と周辺のカガンボ類の記録 加藤大智・河瀬直幹, 岐阜県のカガンボ上科の記録 加藤大智・大宮正也・川瀬英夫, 岐阜県の有弁翅類の記録(2) 大宮正也, ホリトゲアシエバエの交尾ペアを採集 大宮正也, 岐阜県乗鞍岳

で *Lydina aenea*(双翅目, ヤドリバエ科)のオスを採集 大宮正也, ポリナハナレメイエバエ(新称)*Coenosia polina* Vikhrev, 2009を北海道と本州から記録 相良一輝, 北アルプス大滝山周辺の双翅類-第3報- 竹内正人・笹井剛博・大宮正也, 2022年と2023年に石川県白山市の白山およびその周辺で採集されたカガンボ上科 中田勝之・加藤大智, 2022~2023年に石川県白山市の市ノ瀬ビクターセンター内で採集されたハエ目昆虫類 中田勝之・大宮正也・竹内正人, 層雲峡で見つけたデコツノハダラミバエ(ミバエ科)は, 娘から父へのお土産 篠木善重, 三重県のニセヒメガガンボ科 篠木善重, 慶應義塾幼稚舎で採集された双翅目の追加記録 熊澤辰徳・須黒達巳・末吉昌宏・大石久志, ロトコフキイロトゲハネバエ及びグレイノキイロトゲハネバエの栃木県からの記録 瀬島翔馬, 外来種のゴマフケソイカ(新称)を滋賀及び大阪で採集 大石久志・桂孝次郎, 笹川満廣先生の思い出 大石久志

### めもてふ (三重蝶友会)

No.365 (2024.6.20発行) B5, 10pp. 300円(税込・送料別)



同一地域で見られた大きさの異なるゴマダラチョウの越冬 幼虫について 木津川市(京都府) 多賀 敏正, 2007年~2023年のアサギマダラの再捕獲個体について 長谷川 好昭, 2021年~2023年 調査記録(三重県・和歌山県・大阪府) 長谷川 好昭, 多気町でクロヒガゲの幼虫を採集(三重県) 長谷川 好昭, 自宅庭付近で観察した蝶・伊勢市(三重県) 野村 賢二,

### Bug Dorm スプリングネット枠用ハンドル

価格: 1,000円(税込1,100円)

重量: 約49g

長さ: 約11.5cm

Bug Dorm 社および志賀昆虫社製のスプリングネット枠(ネジ込み式)に装着できるハンドル(柄)です。重量わずか49グラム。長さは11.5cmで、プラスチック製の表面には円形状の溝が刻まれており、快適な握り心地となっています。



### 昆虫文献 六本脚

URL: <http://kawamo.co.jp/ropon-ashi/>

EMAIL: [ropon-ashi@kawamo.co.jp](mailto:ropon-ashi@kawamo.co.jp)

〒102-0075

東京都千代田区三番町24-3 三番町MYビル3階

TEL: 03-6825-1164 FAX: 03-5213-1600

定休日: 土、日、祝日 営業時間: 13:00~17:30

●当社の口座は以下の通りです。

ゆうちょ銀行口座: 記号001202 番号18588

郵便振替口座: 00120-2-18588

銀行口座: 三菱UFJ銀行 室町(ムロマチ)支店

普通預金3962446

※口座名義は「昆虫文献 六本脚」

(コンチュウブンケン ロッポンアシ)

